

2024 年 2 月 1 日

リージョナルフィッシュ株式会社  
代表取締役社長 梅川忠典様

遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン

代表 天笠啓祐

特定非営利活動法人日本消費者連盟

共同代表 亀山亜土

共同代表 佐々木ミヨ子

共同代表 マーティン・フリッド

### 高島屋新宿店で販売されたゲノム編集トラフグに関する公開再々質問状への回答お願い

このたび貴社から 2024 年 1 月 9 日付で「高島屋新宿店で販売されたゲノム編集トラフグに関する公開再々質問状への回答について」という文書をいただきましたが、その内容は私たちの質問への回答でなかったことは極めて残念です。改めて回答をお願いするとともに、貴社からの質問に回答いたします。

生産加工履歴の情報に「養殖地：宮崎県串間市」とあった商品は購入したものではありません。

消費者レポート（2023 年 8 月 20 日号）に掲載した写真は、消費者から提供いただいたものです。ところで、貴社からの 2024 年 1 月 9 日付の文書に「同店は売り場での写真撮影を禁じておりますが」とあるように、写真撮影については高島屋新宿店側の問題だと思います。貴社が写真撮影に関する質問をされる理由をお示してください。

私たちは貴社によるゲノム編集魚の養殖は京都府宮津市の陸上養殖場でのみ行われており、卵や稚魚、幼魚での移動はないものと考えておりました。と言いますのも、以前、生物多様性に関する院内集会で、農林水産省の担当者から、ゲノム編集マダイやゲノム編集トラフグについて、「(貴社からの) 情報提供書では、施設の外に出す時は『生き締めした上で』となっており、生きた状態では出ないということで情報提供いただいている」と聞いていたからです。卵や稚魚、幼魚が各地の陸上養殖場に運搬されるとすれば、事故などでそれらが放出された際の生態系への影響を懸念しています。

私たちは遺伝子を操作されたゲノム編集生物・ゲノム編集食品に対し大きな懸念を持っています。ところが、ゲノム編集生物・食品に関しては開発企業などが関係省に届け出た情報しかありません。しかも、受理された届出の情報は私たちの懸念を払拭するにはまったく不十分です。この間、貴社には貴社が開発したゲノム編集魚に関する詳細な質問状を送ったり、消費者との対話を呼びかけたりしましたが、こちらからの質問にきちんと答えていただけないだけでなく、対話も拒否されてきました。安全性についての情報が不足している中で、消費者が食するに至っている現状は問題であると考え、情報を求めています。消費者として疑問に思うことを質問するのは、知る権利であると考えています。貴社は、私たち消費者が情報を求めて事業者質問することに問題があるとお考えでしょうか。

貴社には企業の社会的責任を果たしていただきたく再度「高島屋新宿店で販売されたゲノム編集トラフグに関する公開再々質問状」への回答をお願いします。回答期限は 2 月 9 日とさせていただきます。

以上

<回答先>

日本消費者連盟 担当：瀬瀬（こうけつ）美千世

TEL：03-5155-4765（月・水・金）

FAX：03-5155-4767

Email：koketsu@nishoren.org